



# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度  
国際ロータリーのテーマ  
地域を育み、大陸をつなぐ  
2010～2011年度  
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創 立：1980年(昭和55年)1月10日  
会 長：田中 隆義  
事 務 員：加納 裕  
クラブ委員長：梅村 昌孝  
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～  
会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号  
T E L：052-211-3803  
F A X：052-211-2623  
M A I L：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1506回例会

～ロータリー親睦活動月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年6月2日(木) 晴 第43回

司 会：鈴木健司会場委員  
斉 唱：「君が代」「奉仕の理想」  
ゲ ス ト：スペシャルオリンピックス広報委員会  
前委員長 伴義子さん  
広報委員長 藤田政登さん  
事務局長 近藤義明さん  
山口哲司さん(本多清治さんのゲスト)  
ビ ジ タ ー：名古屋RC 盛田 宏さん  
名古屋RC 市川周作さん

### 会長挨拶

田中隆義会長

皆さん、こんにちは。暦は6月に入り、今年度も残り1ヶ月、例会は今日を入れてあと5回となりました。今年度が無事に終わることを祈っています。



3月11日の東日本大震災から3ヶ月近く経ちますが、被災者の方の多くがまだ避難生活を送っていらっしゃいます。被災された方はこれからPTSDが心配になります。

PTSDはPosttraumatic stress disorder の略で、心的外傷後ストレス障害と訳されています。PTSDは、突然の衝撃的出来事を経験することによって起こり、心に加えられた衝撃的な傷が元となり様々なストレス障害を引き起こす疾患です。明らかな原因があるのがPTSDの特徴で、PTSDの診断には地震・洪水・火事のような災害、事故・戦争などの人災、テロ・監禁・虐待・強姦などの犯罪被害といった強い恐怖感の体験があることが必要条件となります。

PTSDの主な症状は①再体験、②回避、③過覚醒の三症状です。①再体験は原因となった衝撃的な体験が、意図しないのに繰り返し思い出されたり、夢に現れたりします。②回避は衝撃的な体験を思い出すような状況や場面を意識的あるいは無意識的に避け続けるという症状、および感情や感覚などの反応性の麻痺という症状をいいます。③過覚醒は交感神経の亢進が続いていることで、不眠やイライラなどの症状がみられます。また子供では、親にまわりついたり、だだをこねるといった「赤ちゃん返り」の反応を示すこともあります。

PTSDの診断基準では症状の持続が1ヶ月以上とされています。1ヶ月未満の場合は急性ストレス障害と診断されます。持続期間が3ヶ月未満の場合は急性PTSD、3ヶ月以上を慢

性PTSDといいます。またPTSDの症状がトラウマ体験後6ヶ月以上遅れて発生する場合は遅延型PTSDといいます。

ある精神科の医者は「ストレス症状は異常な出来事に対する正常な反応で、被災者の8～9割は数ヶ月で自然に回復するが、1～2割が回復できずPTSDになり、薬や心理療法が必要になる」と言っています。また家族を失った被災者の回復は難しく、先の「阪神・淡路大震災」で家族を失った遺族の調査では回答者の半数以上にPTSDの症状がみられたといわれています。これから被災者の方には「心のケア」も必要になってきます。

### 出席報告

稲垣豊出席委員

会員66名 出席51名 (出席計算人数52名)

出席率 85%

5月26日は補填により 91.7%

### ニコボックス

稲垣豊ニコボックス委員

- ・今月は誕生月です。 遠山 堯郎さん
- ・6月1日は70何回の誕生日でした。 平野哲始郎さん
- ・6月26日は誕生日です。時間がどんどん速く流れます。

長坂 邦雄さん

- ・奥方に綺麗な花をありがとうございました。高木 元明さん
- ・本日は山口氏をゲストにお迎えして。 本多 清治さん
- ・卓話に伴義子様がお話しされます。楽しみにしています。

吉木 洋二さん

- ・5月29日から6月1日、台北延平RCナイスさん、クラウンさんに妻が大変お世話になりました。 大島 浩嗣さん
- ・最近、雨の日が多く、おとなしくしています。鈴木 淑久さん

### 6月お誕生日おめでとう

平野哲始郎さん 嶺木 一夫さん 遠山 堯郎さん  
松波 恒彦さん 倉澤 寛さん 長坂 邦雄さん  
鈴木 健司さん

### 幹事報告

加納 裕幹事

- ・本日13:40より9階「ことぶきの間」にて第12回理事会を行います。
- ・次週6月9日(木)10:00より9階「ことぶきの間」にて地区大会第1部会、第2部会合同委員会を行います。同日13:40より9階「ことぶきの間」にて次年度予定者会議を行います。

以前はロータリーでも支援をしていたのでスペシャルオリンピックスをご存知の方も多と思います。身体障害者の方を対象としているのがパラリンピック、知的障害者の方を対象としているのがスペシャルオリンピックスです。スペシャルオリンピックスは色々な方にご支援いただいています。私共の会社である富士ゼロックスでもグループをあげてご支援させていただいています。是非皆様にもスペシャルオリンピックスをご理解いただきたく前広報委員長の伴さんに卓話をお願いいたしました。

## 卓話

スペシャルオリンピックス前広報委員長 伴義子さん

## スペシャルオリンピックスが目指すもの

2006年度より四年間、名古屋市内23RC社会奉仕委員会様には多額の寄付をいただきました。そして2007年度のホストクラブとして瑞穂RCさんには大変お世話になりました。皆様の多大なるご支援があってこそ私どもはスペシャルオリンピックスの活動を10年間続けてこられたと思っています。この機会をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。本日はまずスペシャルオリンピックスとは何かをまとめましたDVDがございますので、こちらをご覧ください。(DVD鑑賞)



先日、死者・行方不明者合わせ23821名という大変な被害を出した東日本大震災が起こりました。スペシャルオリンピックスでも事務局長が胸に付けています「がんばれ日本」というバッジを作り、災害地に何か支援できないかと頑張っております。ある避難所で動かないと体に良くないとラジオ体操をすることになり、避難している体育館にあるピアノで誰か演奏できる人はいないかと言った時に手を挙げたのが知的障害のある自閉症の子でした。世間的には何もできない社会のお荷物と言われていたその子が被災地の地で皆様のお役に立ったという話を聞いて、私はスペシャルオリンピックスをやってきて良かったと思いました。

『科学や文明がどんなに発達しても2%前後の知的障害の子供が生まれてくる。これは神様が私達に優しさと思いやりという2つのものを教えるために遣わした天使である。』これはある東京の牧師さんが仰ったお言葉です。熊本の中村勝子さんがこの言葉を聞き、体育の先生であった自分にできることはないかと考え、ご自宅を改造して重いダウン症と難聴という重複障害者であるトモコちゃんという女の子に体操を教え始めました。教え続けているとスペシャルオリンピックスジャパンからアメリカのスペシャルオリンピックスに出場しないかとお誘いがありましたが、出られるような状態ではないとお断りしたそうです。しかしディビジョニングという同じ能力ごとにクラス分けがあるから大丈夫という言葉に説得されて出場したそうです。出場することでスペシャルオリンピックスの『昨日の自分に勝つものがみな勝利者』『努力した者がみな讃えられる』という精神を学びます。オリンピックは一部のエリートである強い者が讃えられるだけですが、スペシャルオリンピックスは努力した者がみな讃えられます。なんて素晴らしい考え方なのだろうと感じ、その考えを日本でも広めたいと当時の熊本県知事夫人の細川佳代子さんと共にスペシャルオリンピックスの運動を始め、1994年にスペシャルオリンピックス日本を設立しました。今では準備会を含めて47都道府県に広まっております。アスリート7662名、ボランティア17102名の組織となっています。愛知は2000年に水泳

18名から始めましたが、現在では夏季、冬季合わせて13種目行っています。今ではアスリートが293名、ボランティア730名となりました。しかし名古屋の人口は226万人ですので何万人もの知的障害の子供がいるだろうと思うと、まだまだ広めていかないとけないと思います。他のオリンピックとは違い、スペシャルオリンピックスではトレーニングも含め全てがオリンピックであるという考え方からスペシャルオリンピックスと複数形で呼んでいます。知的発達障害ですとマンツーマンに近いコーチボランティアが必要となります。アスリートは真面目で正直で人の足を引っ張るなんてことはいたしません。できるまで時間は掛かりますが、一生懸命やって必ずできるようになります。その一生懸命な姿を見ることは特に若いボランティアにとって良い経験になり、考え方が変わります。是非皆様の企業のCSRとして取り組んで欲しいと思います。アスリート達はスポーツを通してそのルールを学び、ボランティアと交流することによって自立と社会参加を目指しています。アスリート達は自分から言い出すことが苦手なので私達のサポートがぜひ必要なのです。障害者は人間として当たり前の生活をしたと望んでいるだけです。障害者にとって優しい社会は私達にとっても住みやすい優しい社会になる、そう信じて活動しています。それがスペシャルオリンピックスの目指すところです。



伴義子さんと随員の方々

## 台北延平RCからのお礼状

今回貴クラブの「31周年チャーター記念例会」と両クラブの「第8回姉妹クラブ提携調印式」に出席させていただきました。貴クラブからは熱意のある接待と完璧なもてなしをしていただきありがとうございました。私達は気楽にさせていただきだけでなく、提携調印式も順調に終えることができ、心よりお礼を申し上げます。

当日、中部国際空港に到着して田中会長や大勢のロータリーの方々など長年の旧友に再会すると、自然に心から温かい情熱が沸き上がりました。その夜のWelcome partyは有名な名古屋テレビ塔の中にあるタワーズレストランで行われ、私達は名古屋の夜景を存分に鑑賞させていただきました。そして翌日のショッピングツアーや提携調印式の宴会場、例会後の友好イベントでは更にお互いに交流する機会を与えてくれました。私達は情熱いっぱいの友情をいただいて台北へ戻ることができました。

貴クラブの盛大な歓迎と情熱的なもてなしに心より感謝いたします。今後もお互いに深い友情が永遠に続くようお祈り申し上げます。

## 例会のご案内

## ■今週の卓話 6月9日(木)

卓話講師：徳川美術館

副館長 四辻秀紀さん

テ－マ：名古屋に伝えられた王朝の雅「源氏物語」

## ■次週の卓話 6月16日(木)

卓話講師：名古屋ポストン美術館

館長 馬場駿吉さん

テ－マ：ポストン美術館の現状

## ■次々週行事 6月23日(木) 第5回クラブフォーラム

場 所：ヒルトン名古屋4階「桜の間」